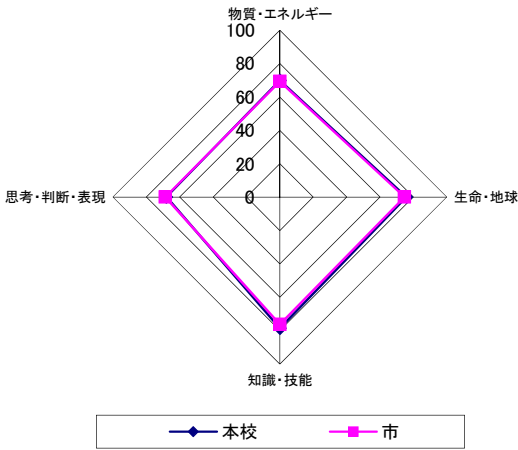


宇都宮市立宮の原小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	69.9	69.3	65.7
	生命・地球	75.7	74.7	77.8
観点別	知識・技能	78.6	76.2	76.4
	思考・判断・表現	68.0	68.7	68.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○全体的に市の平均より正答率が高い。「ふりこのきまり」や「もののとけ方」等の基本的な問題は理解できている。 ●()の穴埋め、考察を記述する問題の正答率が低かった。ふりこの実験計画やろうそくの火が消えるわけを学習した言葉を使って説明することが苦手であった。	・実験を通して、基礎的知識の定着が図られていたので、今後も児童たちが身近な不思議を体感できるように実験機会をしっかりと確保していく。 ・記述式問題の正答率が低かったので、実験結果から考察する際に、既習事項を活用したり、習った言葉を使って表現したりする意識をもたせるように繰り返し指導していく。
生命・地球	○「動物のからだのつくりとはたらき」は市の平均より正答率が高い。動物や人体に興味をもって実験に取り組んでいたため、実験結果を正しく理解することができていた。 ●「月と太陽」は市の平均より全体的に低い。実験の方法や実験を通した結果の理解が足りなかった。また、問題の中の図の意味を正しく捉えることが苦手な児童がいると考えられる。	・既習事項の知識を定着させるために、プリントやAIDリルを活用したり、様々な形式の問題に触れさせたりすることで、問題に抵抗なく取り組めるようにしたい。 ・実験を行う際に、実験の意味や方法、流れをしっかり押さえてから活動できるように指導をしていく。